

「無原罪のマリア」の聖像（高さ90cm）



法人設立当初から「カトリック少年の家」「海の星幼稚舎」の児童・幼児を玄関ホールで迎えていた『聖マリア像』です。旧園舎から「うみのほし学園」の子供たちと一緒に引っ越してきました。新園舎でも正面玄関で両手を広げ、来園者や子供たちをお迎えしています。

『無原罪のマリア』とは…（無原罪のマリアの大祝日：12月8日）

人は生まれながらに原罪を背負っています。しかし、マリアさまは救い主の母となるために、神からの恵みに満たされ、存在の最初の瞬間から罪のない清い状態にありました。「無原罪の御宿り(むげんざいのおんやどり)」「聖母受胎(せいぼじゅたい)」も、聖母マリアは原罪の汚れなしに受胎したとするカトリックの教義です。

「聖家族」の御像（高さ47cm） 寄贈：制作 近藤佐智子氏（全道展会友）



旧園舎「カトリック少年の家」が、児童館活動をしていた時からご縁のある近藤佐智子氏が、新築祝いに作成し寄贈してくださいました。赤ちゃんのイエス様を抱く聖母マリア様と、傍らで支える養父ヨゼフ様の穏やかな御顔が心なごみます。職員室隣り相談室の前廊下に飾っています。

「イエスと世界の子供達」の聖像（高さ90cm）



当法人6代目理事長ウインダル・モリス神父様が、平成17年（2005年）6月に退任されてフランスに帰国される時にくださったご寄附で購入しました。

ご寄附を頂いた時から園舎の改築を考えていましたので、新園舎に「ウインダル神父様の記念品」として設置しようとずっと温めていました。工事開始の2010年9月に発注したのですが、イタリアから日本に出航するコンテナが満杯になるのに月日がかかり、やっと2011年5月に船便が東京に到着、そして函館へ…。

聖像はプレイルームのステージ正面・十字架の所定の場所に落ち着きました。

※世界の子供達は地球上の4人種が表現されていて、世界の人種分布から『モンゴロイド（黄色人種・モンゴル人種）、ネグロイド（黒色人種）、コーカソイド（白色人種）、オーストラロイド（ポリネシア系・南方系の人種）』ではないかと思われま

「おさんぽ」 寄贈：東 豊司氏 油絵（8号 46×38）



石川啄木の妻も通ったといわれる、宝来町の「明治末期建築の質店の土蔵」を改造した『茶房ひし伊』の前で、手をつないでいる幼い子供と母親の“ほのぼのとした色合い”の油絵です。

寄贈して下さった函館在住の画家東豊司氏は、市内の“名だたる病院”“公共の施設”“学校”などにたくさん寄贈されていますので、東さんの作品は、どこかで一度はご覧になっているのではないかと思います。病院や公共の施設・学校などに行かれたら、寄贈者のお名前を探してみてください。

東さんは、2011年（平成23年）1月の新聞で「うみのほし学園新築」の記事をご覧になって、「母と子の絵があるのですが…」とお声をかけてくださいました。

二階への階段踊り場の壁面に飾られています。

インターネットに「東豊司（あずまとよじ）」と入力すると、東さんの“マイギャラリー”というホームページが見られます。油絵だけでなく日本画も描かれていて、美しい絵と共に「寄贈先」も載っています。

フィリップ・グロード神父様の絵

うみのほし学園の初代園長で当法人の初代理事長でもある「グロード神父様の絵」が2点あります。

i 「寒川から見た当別の山」（1971年7月 函館）【昭和46年】 油絵（10号 55×46）

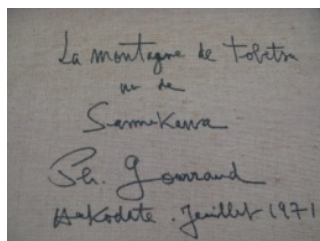


絵の裏にフランス語でサインがあったので、湯川カトリック教会のオール・フランソワ・ザビエ神父様に

に解説していただきました。2階の廊下に飾っています。

※寒川は函館山の裏側にあり、海水浴場である「穴澗」から吊り橋を渡らないと行くことのできない場所です。美しい海岸と温泉があり『函館の秘境』といわれていた。寒川は昔、ブリ・イカが多く採れたため、明治10年（1887年）後半から富山県宮崎村の人たちが、ぼつぼつ住み着き、末期には50戸を数えた。しかし、この吊り橋は波にのまれて命を落とした人も多く、昭和29年9月の台風15号では豪雨で甚大な被害を受け、昭和32年には無人地となった。

「函館市山背泊町字寒川」 現在「山背泊町」は「入舟町」に変更されている。



ii 「空から見たハコダテ」（1977年～78年）【昭和52年以降】 水彩画（色紙 27×27）



色紙の裏にサインも年号も記していなかったため、この題名は「上戸」が付けました。

また、年代は絵の内容から「学園の増改築の建物の状況」「体育館（S47）」「テニスコート（S49）」「六角堂（S50）」「青色の通園バス（S59～H9）」等があり、「旭ヶ岡の家（S51）」の事業開始が1977年であることから、この年以降と考えました。

遙か駒ヶ岳を望み、函館山、函館港、元町方面、寺院、そして函館市環境部の「懐かしい赤白煙突」など、函館の町がすっぽり納められています。相談室に飾っていますのでどうぞ見にいらしてください。